

# 第57回全日本躰道選手権大会

後援 スポーツ庁・長野県

公認 一般社団法人日本武藝躰道本院

主催 NPO法人日本躰道協会



躰

開催：令和6年11月17日

場所：長野県立武道館

開会式：10時45分



# 創造と調和の動く芸術



## 躰道五条訓

- 一、心明鏡にして諸行の実相を写し  
心位正しきを得れば惑さるる事なし
- 一、態端正にして心形の一体を固り  
能心位正しきを得れば侮られる事なし
- 一、氣充溢にして精氣を丹田に発し  
氣位正しきを得れば恐れ戦事なし
- 一、行實踐するに倫理の常道を守り  
行位正しきを得れば誤り行つ事なし
- 一、技応変にして身体を自在に移し  
技位正しきを得れば制される事なし

岳雲



## 躰道への創始

昭和20年第二次世界大戦の末期、玄制流祝嶺正猷最高師範は特攻隊員として、沖縄近海で作戦中の敵艦に攻撃の内命をうけ、肉迫必中の術策を懸命に思案。そのときに、旋・運・変・捻・転の運動法則を基にした動態に発想をえて、三次元の運動空間に適応できる実技を編みだした。

昭和21年大分県南海部郡明治村の山中、23年沖縄県国頭郡久志村の海上にある無人島で運技・変技・転技の一部を創作して24年静岡県伊東市において実技を初めて公開。28年から約10年間東京を中心に大学・自衛隊・会社団体等120余の関係道場で実験的に指導するなかで、新武道を創造するための基礎的な内容を整え、37年に旋技・捻技を完成し、各技をまとめて躰技と称するようになった。

昭和38年「躰道」として旋・運・変・捻・転の実技を科学的に解明するために、人間の存在、社会の状態、宇宙の処理等と、武道における公理の根源要素、人格完成の思想との相関関係を基に原理化をはかる。

昭和40年に、動功(操体の原理)制御(相剋の原理)法形(体・制・玄)経絡(陰陽の調整)などと「物理像」「生理像」「心理像」「情緒像」を一元的に体系化して「躰道」を集大成した。

## ご挨拶



日本武藝躰道三代宗家 **祝嶺 正献**

新潟、埼玉、山梨と続いた令和6年度の全国大会シーズンもここ長野県立武道館での第57回全日本選手権大会をもっていよいよフィナーレを迎えます。会場をお借りした長野県佐久市の皆様、並びに大会実行委員会をはじめとする役員、審判員等年間を通してそれぞれの役割を担って頂いている皆様にはこの場をお借りし心より感謝申し上げます。

武道の修練を通して客観性や俯瞰的視野への意識を高めておられる皆さんですが、生涯を通して対峙し続けるもののひとつに『自分』があり、『他者』との有機性を高め環境への適応も図りながらそのアイデンティティを確立して行くことを躰道はその求める形の一つとしています。あの時あの場所で、この時この人と・・・一生のうちに経験する様々な体験で最も印象に残る記憶を繋ぎ合わせ辿ってきた道を振り返ることがありますが、創設当初より日本国内のみならず国外にも広がりを見せた躰道は、自国の風土に合わせた形でその時その場所で最良と思われる方法を探り今も続けられています。

一方、実技と知識を正統に守り続けてきた日本はこの全日本選手権大会を通じて実に多くのチャンピオン達を輩出してきましたが、マイナー競技であることの利点を最大限に活かしつつ、かつての最盛期とは違った形で一時代を築いて頂けるものと期待しております。対面からではなく始まる躰道がゲームの世界でもアクセス可能になりました。その様な関係者が増える中、リアルな躰道はこれまでの歩み、人と人との繋がりを重んじるもの、人間性を紡ぐものであって欲しいと思います。

日本列島で相次ぐ異常気象や遠隔線状降水帯等、四季折々の風物詩にすんなりと当てはまらない天候の移り変わりに適時適応することは簡単ではありませんが、どんな環境においても循環するものの価値、それらを含めた日常生活からより安全な環境維持を心がけて行きたいと思えます。最後になりましたが、来年には創設から60周年の節目を迎える躰道が、その宝である勇者であり且つ賢者たる皆さんと共に次のステージへと邁進できますよう祈念申し上げ、大会会場にお集まりの皆様、また、ウェブ上でご観覧の全ての皆様へのご挨拶とさせていただきます。

## ご挨拶



大会会長 志摩 基

我々剣道の創始者である祝嶺正献最高師範は、大正 14 年沖縄県名護市有銘に生を受けて 76 歳で没後、本年で 23 年の時が過ぎ、来年は「生誕百年」の記念の年を迎える事になります。

玄制流空手を母体として創始者は、風の中に旋技を、波の中に運技を、曇の中に変技を、渦の中に捻技を、雷の中に転技をそれぞれ創出して剣道を創始し、実践の剣道、高揚の剣道、進化の剣道として羅針され、我々に価値ある薫陶を賜りました。

今は亡き超然孤高の偉大な創始者に想いを馳せる為、来年開催される全ての大会に「生誕百年祭」の冠をつけ、想いをめぐらして開催される方向で御座います。そういう意味では、本年の第 57 回全日本剣道選手権大会を、今までの大会を総括し集大成の結びの大会とする事が、選手並びに関係者の皆さんにとって必然的命題である事を認識して欲しいと思います。

昨年に引き続き、長野県立武道館での開催の運びに際しましては、長野県様始め数多くの皆様方のご理解ご支援ご協力を賜り、大会を開催出来ます事に心より感謝と御礼を申し上げます。

彼の中国、戦国時代の儒学者孟子は、「天、地、人」を宇宙に存在する万物すべてと言う意味を含めて、「天の時は、地の利に如かず」「地の利は、人の和に如かず」と語り、性善説を唱えています。正に万物は間合いの中で形成存在していると言っても過言ではないと思います。

天の時の間合いは「対の先、後の先、先の先」の間合いで学び、地の利の間合いは「相応、誘導、限度」の間合いで学び、人の和の間合いは「惑わされない、心の間合い」「侮られない、態の間合い」「恐れ戦かない、気の間合い」「誤りのない、行の間合い」「制されない、技の間合い」という人倫理法の五訓の間合いに学ぶ事が出来ます。相互に尊び競技を通して和を確立し合うという事は、人類による人類の為の人類の剣道と意義付され、世界和平へと誘う為、「共存の為の調和、共栄の為の創造」を標榜出来るのです。また、主体的な行動確立と能動的媒体拡充を並行して行い、結合と拡散を総括活動として展開する事で、融和体制が確立され、人間形成の構築が充実する事で社会還元へと効果が発展伝播するでしょう。

我々は、多くの人に支えられ、生かされ、生きています。その中で感謝が生まれ、その感謝から感動が生まれ、その感動から創造が生まれ、その創造から進化が形成されます。個々の原理とその相関関係を学ぶ上では、合理的かつ能率的である事に加えて効果的に修練理解する事が望ましいでしょう。

本大会は、選手の皆さん一人ひとりが主役です。その主役を活かすのは審判員の技量と判断が大事ですから、審判員の皆さんは、誇りと英断と自信をもって審判をしてください。そして、選手の皆さんは各競技を通してお互いを尊重し合い、過去や未来を語りながら全力で競技しようとともに、勇気と希望を相互に形成し、創造進化し合う人間道と剣道愛を具現出来る大会にしてください。

「希望は感染する。希望は共鳴、共振、響き渡る。」

## 特別顧問

渡辺 三雄 (一般社団法人日本武藝躰道本院最高会議 議長)  
 中村 正弘 (一般社団法人日本武藝躰道本院最高会議 副議長)  
 近藤 光男 (一般社団法人日本武藝躰道本院最高会議 主席範士)  
 工藤 善己 (NPO 法人日本躰道協会 相談役)

## 大会顧問

[五十音順]

浅川 力三	阿部 淳一	池内 和彦	石川 健次	泉 智慶	井上 雅生
市川 みのる	大川 公男	岡本 宏	加藤 明彦	菅野 智行	北村 幸三
小松原 俊	佐藤 純	柴田 俊一	芝波田 邦博	新里 治英	武田 良夫
立川 孝矣	田中 勇悦	谷 鐵太郎	中塚 晶	中村 正明	鳴海 恵一郎
舟瀬 真義	穂坂 泰	本田 勝博	宮崎 友次	元野 清光	山下 巖
山田 重幸	山西 義彦	山本 清隆	渡邊 登		

## 大会役員

[五十音順]

大会会長 志摩 制基 (一般社団法人日本武藝躰道本院最高会議議員)

大会副会長 奥山 安雪 (一般社団法人日本武藝躰道本院最高会議議員)

大会総務委員会

委員長 板山 宜弘 (NPO 法人日本躰道協会 理事長)

副委員長 岡本 衛 小林 大輔 (NPO 法人日本躰道協会 副理事長)

委員	青木 寛敏	太田 寛	大本 雄介	加賀谷 宏	兼田 寛之
	北村 幸則	久保 誠	清田 義男	金野 道程	黒田 知子
	木間 和也	小林 清喜	小林 学	小林 真由	坂本 巧
	十河 剛	中條 正崇	中野 哲爾	中田 明年	鍋田 和文
	ヒューゴソン・アルヴァル	伏見 誠	船本 高正	福長 寛之	三上 安敦 千暁
	森 大治	横山 典子	良本 真基		

大会実行委員会

委員長 安部 幸史郎

副委員長 | 石川 欣一 | 村瀬 和都 |

委員 | 春日 世生 | 飯島 功仁 | 宇野 友季子 |

大会進行委員会

委員長 山崎 真瑛

委員 | 萩原 利克 | 小林 誠弥 | 永井 誠一郎 | 白倉 繁 | 宇部 真広 |  
 | 藤田 政徳 | 柳 澤 美沙子 |

医務

医務責任者 大須賀 穂高

## 大会審判

大会審判長

審査員



# 大会次第

[令和6年11月17日]

## 10:45 開会式

- 大会宣言 大会実行委員長 ..... 安部幸史郎
- 大会会長挨拶 第57回全日本剣道選手権大会会長 ..... 志摩 制基
- 宗家挨拶 日本武藝剣道三代宗家 ..... 祝嶺 正献
- 来賓挨拶
- 優勝杯返還 ..... 東京城南地区剣道協会
- 選手宣誓 東京城南地区剣道協会 ..... 百瀬 晴菜
- 剣道五条訓 愛知県剣道協会 ..... 油井 陽

## 11:15 競技開始

## 17:00 閉会式

- 褒賞授与
- 講評 審判長 ..... ヒューゴソン・アルヴァル
- 閉会の辞 大会副実行委員長 ..... 石川 欣一

# 出場者一覧

北海道	司香朗	宏有多	田原波野古三根青梅鈴千長鳴水	中工間	青森県	山口村	島亀伊河原小	宮城県	佐々木	阿小神岩神阿峰保	国武主阿阿	井山藤部	貴洋竣	徳介稀剛生	曾吉山小花谷寺中梅高福境米桑山相篠平山山鈴土國中岡	田満崎林岡垣井根戸柳井野山田本間田本木屋保上島本	結花里	谷小進	本久保	希夏蒼響摘な彩香一莉咲子嗣乃菜雅	生川大神重角高荻勝中川高佐々小森横安丹青野村佐友伊	嶋原西壽村	望博明紀太朗茶琉貴太也規胆偉菜依翠	智信洋優悠太	聖駿啓遠陽竜雅莉亜	みなみ	未ゆい	円奈寧杏	尚真	歩典陽敦理大美裕晴	坂佐辻松	東京多摩	金子太高金持藤島小塚	神奈川	遠杉宮	新潟	木杉岩岩加高	山梨	坂土豊坂木深土北	静岡	静岡西部	鈴森	梨心歩乃子	恵咲里	杉鈴村近内後渡佐勝青和山佐	村木松藤村藤邊藤山木田口藤兵庫	和綾俊祐悦有裕	敬悠直真飛鳥	斗真史靖太留歩季り彩	之乃介生子美介誠介悟也波鳥
-----	-----	-----	----------------	-----	-----	-----	--------	-----	-----	----------	-------	------	-----	-------	---------------------------	--------------------------	-----	-----	-----	------------------	---------------------------	-------	-------------------	--------	-----------	-----	-----	------	----	-----------	------	------	------------	-----	-----	----	--------	----	----------	----	------	----	-------	-----	---------------	-----------------	---------	--------	------------	---------------

# 競技説明

## 法形競技

法形競技とは俗に言う「型」で剣道では「法形」と言います。「創造進化の武道」と唱う剣道では「型にはまる」事を嫌っています。その為に「法則に乗ととりかつ変化する物」という意味で「法形」と言っています。

同じ法形でも個人戦と団体戦があり、「個人戦」では次に述べる法形の十大要素に基づき採点されます。

1. 用意と起心
2. 体軸と整体
3. 攻防と陰陽
4. 緩急と強弱
5. 伸縮と剛柔
6. 気合と威力
7. 着眼と目標
8. 呼吸と勢法
9. 運足と運身
10. 残心と解体

「団体戦」では、やはり出場選手5人の調和が最も重要視され、次に技の難易度や、構え緩急の使い方等が判定のしどころとなっています。また見る側からするとどの様な陣型をとるかも興味深いところです。

壮年法形は「呼吸法」を主体に勢命の法形、活命の法形、延命の法形の三つがあります。この法形では各技が呼吸と合った使い方がされているかが見られます。



## 実戦競技

実戦競技とは俗に言う「組み手」で剣道では「実戦」と言います。この実戦を解り易く言うと剣道は「力勝負」を嫌うという事です。剣道では、選手同士が全身全霊の栄誉を傾け、技で勝負をします。その為に直線的、感情的な動きをさげ、戦略的、理性的な試合運びをします。そこで足の運びや「虚(きょ)」に乗じた技が出され観客にとってはいつの間にか技が出たという印象を受けます。判定には「有効」「技有り」「一本」があります。とりわけ、「一本」は完全に相手を制した時に判定されます。

団体戦では5対5で戦います。団体戦で他の武道と違う所は背番号制であり、1番は「旋・運」2番は「運・変」3番は「変・捻」4番は「捻・転」5番は「転・旋」というように、各人が得意の技の番号を選び、その技を中心に戦います。もしその技が決まれば「技有り」が一本になる事があります。これは作戦を持って相手を制した事での一本という判定です。



## 展開競技

展開競技は主役1名と脇役5名で技を展開し競い合う団体戦です。剣道特有の競技です。ルールとしては主役が25秒から30秒以内に脇役全員を倒します。その中で各チームの5人の脇役は1(旋)、2(運)、3(変)、4(捻)、5(転)のゼッケンを持ち、その持番の技を主体に主役を攻めます。その際に技を工夫しいろいろな角度から新しい技を次々と繰り出していきます。転がったり、ジャンプしたり、三次元空間を利用した動きの中から技を展開します。

審判は、それらの技をいかに無理無駄なく確実に脇役が主役をねらい、主役が脇役を倒し、技の展開が十分行われているかを判定し、点数をつけます。



# 栄光の記録

回数	年月	順位	男子団体実戦競技	女子団体実戦競技	男子団体法形競技	女子団体法形競技	男子展開競技	女子展開競技	男子個人実戦競技	男子個人法形競技	壮年法形競技	女子個人法形競技	女子個人実戦競技	総合成績
第48回	26年11月	優勝	新潟県	東京城南	東京城南	東京城北	山梨県	東京城南	金子智一	中野哲爾	田部英知	田和 茜	山際真穂	東京城南
		2位	山梨県	神奈川県	青森県	福島県	新潟県	福島県	油井 陽	岩間桂信	刀禰伯彬	瀨藤有希	加藤紗来	新潟県
		3位	愛知県	千葉県	沖縄県	東京城南	東京城南	新潟県	佐々木秀彰	嶋本幸之助	島宮 満	清水佳江	高橋妙理	千葉県
第49回	27年11月	優勝	山梨県	千葉県	東京城南	東京城南	山梨県	新潟県	佐々木秀彰	中野哲爾	島宮 満	瀨藤有希	山際真穂	東京城南
		2位	新潟県	東京城南	青森県	東京城北	新潟県	千葉県	湊 宏司	嶋本幸之助	芝波田邦博	稲見安希子	植田美輝子	千葉県
		3位	東京城南	東京城西	山梨県	新潟県	東京城南	東京城南	木間和也	上原弘之	刀禰伯彬	佐藤 愛	佐藤緋色	新潟県
第50回	28年11月	優勝	愛知県	千葉県	北海道	東京城南	山梨県	東京城南	佐々木拓真	中野哲爾	田部英知	瀨藤有希	山際真穂	東京城南
		2位	新潟県	東京城南	福島県	北海道	新潟県	東京城北	金子智一	嶋本幸之助	荒井和美	稲見安希子	瀨藤有希	千葉県
		3位	山梨県	神奈川県	千葉県	千葉県	東京多摩	千葉県	土井嘉津也	齋藤健太	芝波田邦博	望月杏奈	奥山みなみ	北海道
第51回	29年11月	優勝	東京多摩	北海道	東京城南	新潟県	新潟県	北海道	金子智一	上原弘之	田部英知	瀨藤有希	山際真穂	東京城南
		2位	山梨県	千葉県	北海道	北海道	東京城南	千葉県	油井 陽	齋藤健太	荒井和美	稲見安希子	稲見安希子	北海道
		3位	愛知県	東京多摩	千葉県	東京城南	千葉県	東京城南	堀米遼太	嶋本幸之助	泉 智慶	田和 茜	平山愛子	新潟県
第52回	30年11月	優勝	愛知県	北海道	北海道	東京城南	東京城南	北海道	油井 陽	上原弘之	田部英知	瀨藤有希	山際真穂	東京城南
		2位	東京多摩	千葉県	東京城南	千葉県	北海道	千葉県	金子智一	花岡拓海	荒井和美	稲見安希子	奥山みなみ	北海道
		3位	静岡西部	東京城南	千葉県	北海道	千葉県	静岡西部	佐々木尚希	名倉崇広	土井光司	荒井 淳映	植田美輝子	千葉県
第53回	1年11月	優勝	愛知県	千葉県	東京城南	北海道	東京城南	東京城南	金子智一	上原弘之	小林真由	瀨藤有希	植田美輝子	東京城南
		2位	宮城県	東京城西	北海道	新潟県	埼玉県	埼玉県	油井 陽	山口海斗	土井光司	山和 茜	稲見安希子	千葉県
		3位	千葉県	北海道	千葉県	東京城南	北海道	新潟県	佐々木尚希	齋藤健太	島宮 満	稲見安希子	奥山みなみ	北海道
第54回	3年11月	優勝	新潟県	千葉県	東京城南	東京城南	新潟県	千葉県	油井 陽	齋藤健太	土井光司	木勢茉莉	稲見安希子	東京城南
		2位	埼玉県	北海道	北海道	北海道	東京城南	東京城南	金子智一	山口海斗	小林真由	稲見安希子	平山愛子	千葉県
		3位	東京多摩	東京城南			北海道		湊 宏司	花岡拓海	泉 智慶	小谷夏子	木勢茉莉	北海道
第55回	4年11月	優勝	新潟県	千葉県	東京城南	東京城南	新潟県	千葉県	油井 陽	齋藤健太	島宮 満	稲見安希子	植田美輝子	千葉県
		2位	東京多摩	北海道	千葉県	千葉県	東京城南	東京城南	金子智一	山口海斗	星野菜穂子	木勢茉莉	稲見安希子	東京城南
		3位	愛知県	東京城南	北海道	新潟県	千葉県	北海道	木村雅和	下屋大輔	小林真由	長谷川桜子	木勢茉莉	新潟県
第56回	5年11月	優勝	新潟県	東京城南	東京城南	千葉県	静岡西部	千葉県	油井 陽	齋藤健太	島宮 満	百瀬晴菜	木勢茉莉	東京城南
		2位	愛知県	東京城西	北海道	東京城南	東京城南	東京城南	金子智一	山田光流	荒井和美	木勢茉莉	植田美輝子	千葉県
		3位	千葉県	千葉県	千葉県	東京城西	新潟県	東京城西	木村雅和	阿部 舜	杉村和之	稲見安希子	山際真穂	東京城西

祝

# 第 57 回全日本躰道選手権大会

チャレンジ25! 感謝を力に新たな夢へ!!  
**日本システムバンク**

ノ サカ ノブ ヨシ  
代表取締役社長 **野坂信嘉**

コインパーキング  
COIN PARKING SYSTEM



充電スタンド  
ELECTRIC CHARGING SYSTEM



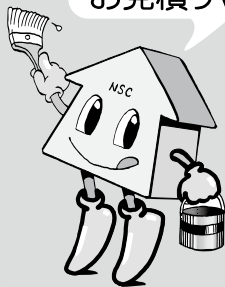
福井本社 〒910-0006 福井県福井市中央 3-5-21 TEL: (0776) 30-1800 FAX: (0776) 30-1801 <http://www.syb.co.jp>  
さいたま支店 〒330-0071 埼玉県さいたま市浦和区上木崎 2-5-2 TEL: (048) 823-8740 FAX: (048) 823-8741 [info:saitama@syb.co.jp](mailto:info:saitama@syb.co.jp)  
本支店: 東京・渋谷・神奈川・札幌・名古屋・京都・大阪・神戸・福岡・金沢・富山・長野

お見積りやご相談は無料です。お気軽にご相談ください。

埼玉県知事許可(般-2) 第73359号

小規模営繕から大規模改修まで

施設・店舗・自宅のウイルス対策に **除菌・消臭**



## 内装センター株式会社

フリーダイヤル **0120-889-018**

〒350-0155 埼玉県比企郡川島町釘無214-8

【TEL】049-298-3531 【FAX】049-291-0504

【E-mail】[info@naisou-c.net](mailto:info@naisou-c.net) 【URL】<https://www.naisou-center.com>

- クロス張替
- 水廻り修繕
- 網戸貼替
- ふすま畳替え
- 健康床暖房
- 外装塗装
- 白アリ防除



看板・ネオン・一般電気設備工事  
変電設備工事・鉄骨鋼構造物工事

## 有限会社 ロードサイン

代表取締役 **河上 英二**

〒350-0013 埼玉県川越市洪井930-1

TEL 049 (235) 7388(代)

FAX 049 (235) 7387

携帯電話 090-3062-9989

e-mail [info@road-sign.net](mailto:info@road-sign.net)

建設業埼玉県知事許可 第7941号

## 有限会社 加島屋

一級土木施工管理技士

代表取締役 **加藤 益 敬**

埼玉県川越市大字的場1884-1

TEL 049 (231) 2100(代)

FAX 049 (231) 2124



祝

# 第57回全日本躰道選手権大会



株式会社 天極      株式会社 天道      株式会社 天地人

祝 第57回 全日本躰道選手権大会

## 東京トロフィー株式会社

トロフィー  
カップ  
旗  
バッチ

メダル  
タイ止め  
製造直販  
賞状

TEL:03-3933-2830  
FAX:03-3931-8084



レーザー彫刻  
承ります

東京都練馬区北町2-30-19  
ホームページアドレス  
<http://www.tokyotrophy.com>  
E-MAIL [info@tokyotrophy.com](mailto:info@tokyotrophy.com)



造園 土木 施工管理 緑化樹木卸

きれいな空気とやさしい心を緑の木から

株式会社 埼玉植物園

TEL 048-281-0124 FAX 048-284-9284  
〒334-0002 埼玉県川口市鳩ヶ谷本町3-23-4

<http://www.saitama-shokubutsuen.com/>  
mail : [saisyok3@wonder.ocn.ne.jp](mailto:saisyok3@wonder.ocn.ne.jp)

本社/戸田営業所

祝

第57回全日本躰道選手権大会

祝

第57回全日本躰道選手権大会

宮城県躰道協会



会 長	勝 沼 栄 明
副会長	志 摩 制 基
理事長	伏 見 誠

選手諸君の健闘を祈ります！

うんぎ どうこうごかい  
運技の動功五戒

### 運体激浪

上下しながら打ち寄せる荒浪が、固い岩を打ち砕くように激しく技を施せという戒め

道歌 【荒浪の 岩をも砕く 運体の 波動起伏 上下に至る】

### 起発制足（膝）

前に出る蹴り足やその膝を制されないように高足・鈍足・浮足に注意し素早く行えという戒め

道歌 【防ぐ体 起発の本は 足にあり 三つの嫌い 兼ねて知るべし】

### 足甲踏踏

防ぎ足や蹴り足が着地する際にその足を用いて相手の甲を踏み砕くように行えという戒め

道歌 【蹴り足を 無為に用いる 愚かさよ 甲を砕くは 岩をも砕く】

### 三節一体

突き手の手、防ぎ手の肘、前に出る足の膝の各関節を前胸部に集めて防御しながら行えという戒め

道歌 【手肘膝 意を尽くせし 一体は 攻めも守るも 間合半ばに】

### 関元即決

体が高い状態から低い状態でまっすぐに移動するので、目標を下腹部の関元に置けという戒め

道歌 【目標を 上下につけて 施すも 極める関元 忘るべからず】

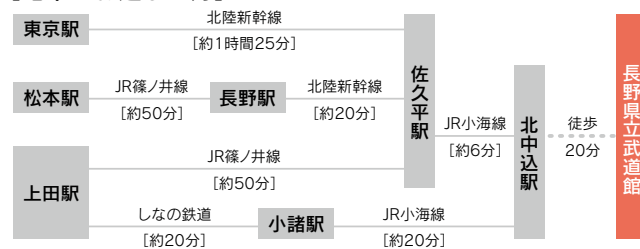


長野県立武道館 長野県佐久市猿久保165-1 TEL.0267-78-5370

**[車でお越しの方]**

- 上信越道、佐久ICより約10分
- 上信越道、佐久平スマートICより約13分
- 中部横断自動車道、佐久北ICより約13分  
中佐都ICより約10分

**[電車でお越しの方]**



編集/大会実行委員会

発行者/NPO法人日本剣道協会

東京都中野区中央5-38-13 エスエス10 A702/TEL.03(5342)2322/FAX.03(5342)2321  
mail: office@taido.gr.jp/web-site: http://www.taido.gr.jp